【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2006-214266(P2006-214266A)
【公開日】平成18年8月17日(2006.8.17)
【年通号数】公開・登録公報2006-032
【出願番号】特願2006-27875(P2006-27875)
【国際特許分類】
Ｅ２１Ｂ　47/00　　(2006.01)
Ｅ２１Ｂ　47/01　　(2006.01)
Ｅ２１Ｂ　47/12　　(2006.01)
Ｅ２１Ｂ　47/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ２１Ｂ　47/00
Ｅ２１Ｂ　47/01
Ｅ２１Ｂ　47/12
Ｅ２１Ｂ　47/06

【手続補正書】
【提出日】平成20年9月9日(2008.9.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
中央本体（１）の長手部分の一部（１'''）が、プローブが据付状態にある時には開口通路（２）の一部に空所を画定すると共にプローブが非据付状態で閉鎖されている時には各センサーと記録手段及びデータ処理手段の収容空間を提供するＵ字状溝形部の形態であることを特徴とする請求項１に記載の独立形計測兼信号処理プローブ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
中央本体の長手部分の一部が、プローブが据付状態にある時には開口通路の一部に空所を画定すると共にプローブが非据付状態で閉鎖されている時には各センサーと記録手段及びデータ処理手段の収容空間を提供するＵ字状溝形部の形態であること。